



## 2021年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

2021年2月8日

上場会社名 日本パレットプール株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 4690 URL https://www.npp-web.co.jp  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 辻 幸則  
 問合せ先責任者 (役職名) 財務部長 (氏名) 曾我 智樹 (TEL) 06(6373)3231  
 四半期報告書提出予定日 2021年2月12日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2021年3月期第3四半期の業績(2020年4月1日~2020年12月31日)

(1) 経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第3四半期	5,260	—	539	36.2	637	22.5	417	23.4
2020年3月期第3四半期	5,261	6.6	396	215.8	520	166.1	338	205.6

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第3四半期	496.48	—
2020年3月期第3四半期	402.32	—

### (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第3四半期	10,237	4,856	47.4
2020年3月期	10,338	4,475	43.3

(参考) 自己資本 2021年3月期第3四半期 4,856百万円 2020年3月期 4,475百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	0.00	—	70.00	70.00
2021年3月期	—	0.00	—		
2021年3月期(予想)				70.00	70.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2021年3月期の業績予想(2020年4月1日~2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	7,013	—	604	16.9	708	6.0	439	0.8	521.78

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数（四半期累計）

2021年3月期3Q	850,000株	2020年3月期	850,000株
2021年3月期3Q	8,520株	2020年3月期	8,520株
2021年3月期3Q	841,480株	2020年3月期3Q	841,535株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいております。新型コロナウイルス感染拡大による影響については、上半期までは主要顧客の生産調整及び在庫増にともない、パレット等のレンタル数量は増加基調で推移しましたが、年度後半に入り、主要顧客の在庫圧縮の影響を受け、パレットの返却数量が増加したため、売上高が減少傾向に転じております。さらには、返却パレットの回収・保管コストも増加しており、収益を圧迫しております。当第4四半期についても厳しい経営環境が継続するものと予想されますが、営業セールス活動を積極的に展開するとともに、運用面の更なる効率化による費用の削減に取り組み、2020年11月6日に公表しました業績予想の確保を図ってまいります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期貸借対照表	3
(2) 四半期損益計算書	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	6
(会計方針の変更)	6
(会計上の見積りの変更)	6
(修正再表示)	6
3. その他	7
継続企業の前提に関する重要事象等	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間における国内経済は、新型コロナウイルス感染症の影響を受けて個人消費や企業活動が停滞し、非常に厳しい状況となりました。5月の緊急事態宣言の解除後は、各種の需要喚起策の効果により、景気の持ち直しの動きが見られるものの、国内外で感染拡大が長期化していることから、先行きへの不透明感が続いております。

このような経営環境の中で「一貫パレチゼーション」の主要顧客である石油化学樹脂関連企業向けレンタルは、顧客側の生産縮小や在庫圧縮等の影響を受けて貸出数量が伸び悩み、前年同四半期の実績を下回りました。その他一般顧客については、顧客側の商品在庫積み増し等の要因により、レンタル需要は堅調に推移しましたが、レンタル売上高は全体で減となりました。その他扱いの売上高合計は前年同四半期の実績を上回りましたが、当第3四半期累計期間の売上高総額は52億60百万円となりました(前年同四半期は52億61百万円)。

費用面につきましては、パレットの回送費用等の低減に加え、パレットの回収強化策の実施等により、現有貸与資産の有効活用、運用面での効率化が図られたため、営業費用は47億21百万円(前年同四半期比3.0%減)となりました。

この結果、営業利益5億39百万円(前年同四半期比36.2%増)、経常利益6億37百万円(前年同四半期比22.5%増)、四半期純利益4億17百万円(前年同四半期比23.4%増)となりました。

なお、当第3四半期累計期間の経営成績において、新型コロナウイルス感染症による影響は軽微にとどまりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### ①財政状態の変動状況

当第3四半期会計期間末の総資産は、102億37百万円で、前事業年度末に比べ1億1百万円、1.0%減となりました。

流動資産は、17億56百万円で、前事業年度末に比べ93百万円、5.6%増、固定資産は、84億80百万円で、前事業年度末に比べ1億95百万円、2.3%減となりました。

流動資産増加の主な要因は、レンタル未収金の減少はあったものの、未収入金(「その他」に含む)及び売掛金の増加等によるものです。

固定資産減少の主な要因は、無形固定資産の増加はあったものの、貸与資産の減少等によるものです。

流動負債は、30億47百万円で、前事業年度末に比べ3億40百万円、10.0%減、固定負債は、23億32百万円で、前事業年度末に比べ1億42百万円、5.8%減となりました。

流動負債減少の主な要因は、買掛金、未払法人税等及び未払消費税(「その他」に含む)の減少等によるものです。

固定負債減少の主な要因は、長期未払金の増加はあったものの長期借入金の減少等によるものです。

当第3四半期会計期間末の純資産は、48億56百万円で、前事業年度末に比べ3億81百万円、8.5%増となりました。これは、利益剰余金の増加等によるものです。

なお、当第3四半期累計期間の財政状態において、新型コロナウイルス感染症による影響は軽微にとどまりました。

### (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年11月6日に公表いたしました業績予想から修正は行っておりません。

## 2. 四半期財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2020年3月31日)	当第3四半期会計期間 (2020年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	737,669	734,027
受取手形	17,749	17,919
レンタル未収金	763,565	737,000
売掛金	100,409	113,097
その他	47,403	158,577
貸倒引当金	△4,336	△4,297
流動資産合計	1,662,460	1,756,324
固定資産		
有形固定資産		
貸与資産		
貸与用器具(純額)	7,633,103	7,392,388
貸与資産合計	7,633,103	7,392,388
社用資産		
建物(純額)	156,515	156,445
土地	483,126	483,126
その他(純額)	111,706	101,216
社用資産合計	751,348	740,788
有形固定資産合計	8,384,452	8,133,177
無形固定資産		
投資その他の資産	16,583	78,246
投資有価証券	178,431	196,362
その他	110,276	84,583
貸倒引当金	△13,221	△11,642
投資その他の資産合計	275,486	269,303
固定資産合計	8,676,522	8,480,727
資産合計	10,338,983	10,237,052
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	691,236	524,116
短期借入金	1,030,000	1,030,000
1年内返済予定の長期借入金	998,172	979,818
未払法人税等	177,606	97,364
引当金	48,863	17,166
その他	442,484	399,484
流動負債合計	3,388,363	3,047,949
固定負債		
長期借入金	1,891,680	1,580,196
引当金	19,321	18,004
長期未払金	532,019	701,764
資産除去債務	32,245	32,381
固定負債合計	2,475,266	2,332,346
負債合計	5,863,629	5,380,295

(単位:千円)

	前事業年度 (2020年3月31日)	当第3四半期会計期間 (2020年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	767,955	767,955
資本剰余金	486,455	486,455
利益剰余金	3,230,691	3,589,566
自己株式	△17,822	△17,822
株主資本合計	4,467,279	4,826,154
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	8,074	30,602
評価・換算差額等合計	8,074	30,602
純資産合計	4,475,353	4,856,756
負債純資産合計	10,338,983	10,237,052

## (2) 四半期損益計算書

第3四半期累計期間

(単位:千円)

	前第3四半期累計期間 (自2019年4月1日 至2019年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自2020年4月1日 至2020年12月31日)
売上高	5,261,340	5,260,755
売上原価	4,173,196	4,042,537
売上総利益	1,088,144	1,218,218
割賦販売未実現利益繰入額	2,067	699
割賦販売未実現利益戻入額	6,016	4,452
差引売上総利益	1,092,092	1,221,971
販売費及び一般管理費	695,732	682,222
営業利益	396,360	539,749
営業外収益		
受取利息	9	9
受取配当金	4,885	4,764
紛失補償金	118,351	92,160
廃棄物処分収入	24,769	22,986
その他	2,070	406
営業外収益合計	150,086	120,328
営業外費用		
支払利息	26,230	22,639
営業外費用合計	26,230	22,639
経常利益	520,217	637,437
特別利益		
固定資産売却益	1,400	—
特別利益合計	1,400	—
特別損失		
投資有価証券評価損	5,527	11,281
特別損失合計	5,527	11,281
税引前四半期純利益	516,090	626,156
法人税、住民税及び事業税	168,773	195,867
法人税等調整額	8,746	12,510
法人税等合計	177,520	208,378
四半期純利益	338,570	417,778

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

(会計上の見積りの変更)

該当事項はありません。

(修正再表示)

該当事項はありません。



3. その他

継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。